

未収金目標及び具体取組内容調査書

所属	西成区	担当	総務課	債権整理番号(3ケタ)	西成 002	債権区分	非強公	債権名	給与戻入金 ※総務室取扱分
----	-----	----	-----	-------------	-----------	------	-----	-----	------------------

1. 令和4年度の修正目標 (=未収金残高目標) の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例) 令和4年度修正目標 = 令和4年度当初に、令和3年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和4年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	A	合計(過年度+現年度)	B1
-----	----	-----	---	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが、目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず、目標も未達、「-」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移 (実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位: 千円)

	過年度分									現年度分						合計			
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
	ア =前年度ケ'	イ =ア-ウ (▲=増加を表す)	ウ	エ	オ	カ =イ+エ+オ	キ =エ÷ウ	ク =カ÷ア	ケ =ウ-(エ+オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' (=エ'+オ')	キ' =エ'+ウ'	ク' =カ'+ウ'	ケ' =ウ'- (エ'+オ')	キ'' =(エ+エ') ÷(ウ+ウ')	ク'' =(カ+カ') ÷(ア+ア')	ケ'' =ケ+ケ'
A	令2 実績	36	0	36	16	0	16	44.4%	44.4%	20	0	0	0	0	-	0	44.4%	44.4%	20
B	令3 実績	20	▲153	173	20	0	▲133	11.6%	-665.0%	153	0	0	0	0	-	0	11.6%	-665.0%	153
C	令4 修正目標	153	0	153	153	0	153	100.0%	100.0%	0	0	0	0	0	-	0	100.0%	100.0%	0
D	令4 実績	153	0	153	0	0	0	0.0%	0.0%	153	0	0	0	0	-	0	0.0%	0.0%	153
E	令5 当初目標	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	0	-	0	-	-	0
F	令5 修正目標	153	0	153	153	0	153	100.0%	100.0%	0	0	0	0	0	-	0	100.0%	100.0%	0
G	令6 当初目標	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	0	-	0	-	-	0

3. 令和4年度決算見込における未収金実績の状況 (区分別の未収債権の件数・未収金残高、債務者数) … 未収債権の件数及び債務者数については、色付け箇所のみ、整数で入力。未収金残高については、色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数で入力

(残高の単位: 千円)

分類	回収債権									整理債権						合計					
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	残高の合計 = 上記2のD (令3実績) のケ及びケ'	※ 残高の数字の 一致を確認の 上、提出。 ただし四捨五入 に伴う不一致の 場合は除く。 (その場合は、 不一致となった 合計欄のセルを 黄色く塗りつぶ して提出)			
	滞納発生直後 のもの (督促状未送付 のもの)	督促状送付後、 各種催告中 又は 納付交渉中の もの	督促状送付後、 各種催告中 又は 行方不明等所在 など調査中 又は 個人債務者が 死亡したため、 相続人調査中 のもの	【強制公】 差押え後、 又は 交付要求中 のもの 【非・私】 債務名義取得 のため法的 手続中のもの	【強制公】 差押え後、 換 hands 中 のもの 【非・私】 債務名義取得 後、 強制執行中 又は 強制執行予定 のもの	換 hands 等又は は履行延期の 特約等又は分 割割約により、 分割割約中 であり、 現在の分割割 割割額で、10年 以内の完納見 込があるもの	換 hands 等又は は履行延期の 特約等又は分 割割約により、 分割割約中 であり、 現在の分割割 割割額で、完納 まで10年以上 要するもの	換 hands 等又は は履行延期の 特約等により、 債務者の資力 回復を待つた め、納付を猶 予(期限延長)し ているもの	換 hands 等又は は履行延期の 特約等又は分 割割約を行った が、 分割割約の履 行が滞り、 再度、納付交 渉中のもの	【強制公】 差押えを行った が、換 hands のないもの 又は 換 hands だが、 未 収金が残り、回 収見込みがない もの 【非・私】 債務名義を取得 したが、債務者 の財産少額によ り、強制執行見 込のないもの	所在など調査後 なお行方不明等 又は 相続人調査後な お相続人未確 定 若しくは 相続人不存在 確定だが、 停止の判断に 至れていないもの	債務者の代理 人から債務整理 の委任通知が 届いているもの 又は 債務者が破産 手続中のもの	債務者が破産 免責決定を受け たもの	【強制公】 法に基づく滞 滞分の停止の 決議を行っている もの 【非・私】 法に基づく徴 徴停止の決議を 行っているもの	【強制公】 債務者が生活 困窮中だが、債 権の特性上、停 止の決議を行 えないもの 【非・私】 債務者が無資 力が、納付交 渉に応じず、履 行延期の特約 等を行えないもの	消滅時効期間 が経過している もの					
過年度	未収債権 の件数	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
現年度	未収債権 の件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
過年度	未収金 残高	0	0	153	0	0	0	0	0	153	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	153
現年度	未収金 残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【未収債権の件数及び債務者数並びに分類の考え方】
 ① 未収債権の件数は、原則、調定件数とする。調定をまとめて行っている場合は、事実上の債権の件数とする。(例: 毎月の定期給付債権の場合、1人の債務者につき、1年間で12件の債権が発生していることとなる。)
 ② 1つの債権に、連帯債務者や連帯保証人が設定されている場合であっても、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考え、3の表は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。
 ③ 債務者が死亡した場合で、相続人が複数いる場合、相続割合に従い、債務が相続される(債務が分割して相続される)が、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考える。それぞれの相続人で、未収債権の状況が異なる場合、3の表は、相続された債務額の最も大きい相続人の状況で分類する。同額の場合は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。
 ※ 未収債権の進捗状況 … ① → ② → ③ ⇒ 回収債権: (④ → ⑤) 又は ⑥ 又は ⑦ 又は ⑧ 又は ⑨ / 整理債権: (⑩ 又は ⑪ 又は ⑫ → ⑬) → ⑭ 又は ⑮ → ⑯

令和4年度 決算見込 における 債務者数	1
令和4年度決算見込における 未収債権の件数(過年度+現年度)	1
令和4年度決算見込における 未収金残高(過年度+現年度) = 上記2のD(令4実績)のケ	153

4. 令和4年度の取組内容の検証など

	過年度	現年度
取組内容	総務局人事部管理課と連携し、引き続き納付に向けてすすめる。	—
取組実績	令和5年2月、所在調査のため住民票記載の住所を訪問し、不在箋を投函した。	—
課題	納付書の送付や不在箋を投函するも、本人から音沙汰がない。	—
改善策	総務局人事部管理課と連携し、引き続き納付に向けてすすめる。	—

5. 令和5年度の取組内容 … 「1. 令和4年度の修正目標(=未収金残高目標)の達成状況」及び「4. 令和4年度の取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

	過年度	現年度
取組内容	総務局人事部管理課と連携し、引き続き納付に向けてすすめる。	—